

まちを知る 議会を知る

# みのかも 市議会 だより

2022.11.1  
No.191

## 令和4年市議会第3回定例会

令和3年度一般会計ほか各会計決算を認定

## 令和4年市議会第1回臨時会

議会構成を決定

議長に渡辺孝男議員、副議長に金井文敏議員

## 議会による事業評価を実施、市長に提言

### 主な内容

- ◆議員紹介…………… 2P
- ◆臨時会の審議結果…………… 3P
- ◆定例会の審議結果…………… 4～5P
- ◆決算審査の概要…………… 6～7P
- ◆委員会審査の概要…………… 8～9P
- ◆市政一般に対する質問と答弁…………… 10～17P
- ◆活動ピックアップ①…………… 17P
- ◆活動ピックアップ②  
お知らせなど…………… 18P

# 議員紹介

◆任期：令和4年10月13日～令和8年10月12日

※左側の数字は議席番号。年齢は令和4年11月1日現在。

①住所 ②党派 ③会派 ④当選回数

1



たにもと あずさ  
**谷本 梓**(45歳)  
①下米田町 ②無所属  
③立志会 ④1

2



かめい しげあき  
**亀井 滋昭**(36歳)  
①蜂屋町 ②無所属  
③結いの会 ④1

3



たかい みえ  
**高井 実枝**(53歳)  
①加茂野町 ②無所属  
③結いの会 ④1

4



こうけつ げんた  
**瀬織 源太**(48歳)  
①下米田町 ②日本共産党  
③日本共産党市議団 ④1

5



わたなべ いちこ  
**渡邊 一子**(63歳)  
①下米田町 ②無所属  
③まず聞く！ ④1

6



たぐち ともこ  
**田口 智子**(46歳)  
①山手町 ②無所属  
③結いの会 ④2

7



ながた のりお  
**永田 徳男**(70歳)  
①森山町 ②無所属  
③結いの会 ④2

8



さかい ふみよし  
**坂井 文好**(65歳)  
①蜂屋町 ②無所属  
③結いの会 ④2

9



きし かずお  
**岸 一夫**(78歳)  
①蜂屋町 ②無所属  
③新生会 ④3

10



わたなべ たかお  
**渡辺 孝男**(70歳)  
①川合町 ②無所属  
③結いの会 ④3

11



むらせ まさき  
**村瀬 正樹**(72歳)  
①蜂屋町 ②無所属  
③新生会 ④4

12



かない ふみとし  
**金井 文敏**(65歳)  
①蜂屋町 ②公明党  
③市議会公明党 ④5

13



つげ ひろいち  
**柘植 宏一**(69歳)  
①島町 ②無所属  
③新しい風 ④6

14



もり ゆみこ  
**森 弓子**(68歳)  
①牧野 ②無所属  
③結いの会 ④7

15



もり あつお  
**森 厚夫**(72歳)  
①加茂野町 ②無所属  
③新生会 ④8

16



やまだ さかえ  
**山田 栄**(70歳)  
①太田本町 ②無所属  
③結いの会 ④8

## 臨時会の審議結果

令和4年  
第1回

### 臨時会

<改選後の臨時会 10月20日開催>

議長に渡辺孝男議員、副議長に金井文敏議員 議会の新体制が決まる

議長  
渡辺 孝男



副議長  
金井 文敏



平素より市議会に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。  
このたびの臨時会におきまして、議長、副議長に就任いたしました。多様な意見を集約し、公正かつ円滑な議会運営に全力を傾けて取り組んでまいります所存です。  
市民の皆様におかれましては、引き続き議会へのご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

### 議案の審議結果

議案番号	議案名	主な内容	結果
選第2号	議長の選挙	議長を決める選挙	渡辺孝男議員 当選
選第3号	副議長の選挙	副議長を決める選挙	金井文敏議員 当選
選第4号	美濃加茂市・富加町中学校組合議会議員の選挙	組合議会議員を決める選挙	渡辺孝男議員 金井文敏議員 柘植宏一議員 亀井滋昭議員 高井実枝議員 当選
承第8号	専決処分の承認を求めることについて 令和4年度美濃加茂市一般会計補正予算(第6号)	2億4,208万7千円の増額、 予算総額は234億8,979万2千円	原案承認(全会一致)
議第55号	美濃加茂市監査委員の選任	監査委員のうち議会から選任された議員の任期満了に伴い、新たに永田徳男議員を選任することの同意	原案同意(全会一致)
議第56号	予算決算特別委員会の設置について	特別委員会を設置するもの	原案可決(全会一致)
議第57号	新庁舎建設特別委員会の設置について	特別委員会を設置するもの	原案可決(全会一致)
議第58号	議会改革特別委員会の設置について	特別委員会を設置するもの	原案可決(全会一致)

**各委員会の構成** 第1回臨時会において、各委員会の構成が下記のとおり変更されました。

- ◆ **議会運営委員会** 委員長：森 弓子 副委員長：永田 徳男  
委員：田口 智子 坂井 文好 山田 栄  
森 厚夫 村瀬 正樹
- ◆ **文教民生常任委員会** 委員長：柘植 宏一 副委員長：田口 智子  
委員：高井 実枝 永田 徳男 森 弓子  
岸 一夫 金井 文敏 纈纈 源太
- ◆ **企画建設常任委員会** 委員長：坂井 文好 副委員長：山田 栄  
委員：亀井 滋昭 渡辺 孝男 村瀬 正樹  
森 厚夫 渡邊 一子 谷本 梓

議会選出監査委員



新たに選任された

永田 徳男 議員

○3つの特別委員会を設置

- ◆ **予算決算特別委員会** 委員長：金井 文敏 副委員長：坂井 文好 委員：全議員
- ◆ **新庁舎建設特別委員会** 委員長：森 弓子 副委員長：山田 栄 委員：全議員
- ◆ **議会改革特別委員会** 委員長：田口 智子 副委員長：柘植 宏一  
委員：高井 実枝 金井 文敏 渡邊 一子  
纈纈 源太 谷本 梓 岸 一夫

令和4年  
第3回

# 定例会

▶ 令和3年度一般会計ほか各会計決算を認定

令和4年8月22日に美濃加茂市議会第3回定例会が開会され、会期を9月14日までの24日間と決定しました。その後、8億3,655万1千円を増額する令和4年度美濃加茂市一般会計補正予算(第5号)を含む21案件(請願1件含む)を上程し、提案説明を行いました。そのうち、美濃加茂市教育委員会の教育長の任命について(議第53号)を含む計4議案については、質疑、採決まで行いました。また、前年度の一般会計、特別会計ほかの歳入歳出決算認定議案については、提案説明の後、監査委員が監査報告を行い、請願1件については委員会付託し、散会しました。第24日目(最終日)は、初日に採決した4議案を除く17議案(請願1件含む)について、各常任委員会の委員長報告の後、採決を行い定例会を閉会しました。

## 議案 クローズアップ

### 議第48号

令和4年度美濃加茂市一般会計補正予算(第5号)  
◆肥料価格等高騰緊急支援事業  
(新型コロナ対策)2,999万6千円

新型コロナウイルスなど様々な影響で、肥料や農薬など資材が高騰し、農家に大きな影響が生じています。緊急対策として肥料等の費用の一部を補助して支援します。

#### 事業概要

- 対象者：農業収入のある市内に住所を有する個人または法人(市内に主たる事務所を有する法人)で、現在も営農を実施し今後も営農を継続する意思がある個人または法人。
- 補助金額：令和3年税申告又は決算報告した肥料及び農薬等の購入費の15%(千円未満切り捨て)とする。  
※上限額は200万円、支給は1回限りとします。
- 申請期間：令和4年11月1日～令和5年1月31日  
※郵送の場合は、当日消印有効。

### 議会日誌 (主なもの)

8月	9月
2日 関・美濃加茂・郡上・下呂・富加道路網整備促進期成同盟会 名濃バイパス建設促進期成同盟会定期総会	1日 議会運営委員会
4日 企画建設常任委員会視察(新丸山ダム)	14日 予算決算特別委員会(事業評価)
6日 おん祭MINOKAMO2022夏の陣	16日 予算決算特別委員会(事業評価)
7日 市スポーツ少年団大会 あじさいまつり写真コンクール表彰式	21日 議会による事業評価に基づく提言(市長へ提出) シルバー人材センター要望
8日 国道41号美濃加茂・下呂間強靱化推進同盟会定期総会	25日 加茂防衛協会創立60周年記念式典
10日 新型コロナウイルス対策協議会	10月
17日 市緑化推進協議会	3日 当選証書付与式
18日 議会運営委員会 予算決算特別委員会(抽出事業説明会)	6日 議会だより編集委員会
22日 市議会第3回定例会(～9月14日)	8日 市戦没者追悼式
23日 議会だより編集委員会	12日 議会だより編集委員会
	20日 市議会第1回臨時会
	27日 文教民生常任委員会協議会 市健寿連合会福祉大会
	28日 企画建設常任委員会協議会
	29日 市文芸祭表彰式

## 定例会の審議結果

### 議案の審議結果

#### 全会一致で可決された議案

議案番号	議案名	主な内容
議第46号	美濃加茂市特定用途制限地域における認定畜舎等の建築等の制限に関する条例について	畜舎等の建設等及び利用の特例に関する法律の施行に伴い、認定畜舎等について特定用途制限地域内における制限を設けるもの。
議第47号	美濃加茂市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	地方公務員の育児休業等に関する法律及び育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び雇用保険法の一部を改正する法律により、非常勤職員に係る育児休業の取得要件の緩和等、所要の改正を行うもの。
議第48号	令和4年度美濃加茂市一般会計補正予算(第5号)	8億3,655万1千円の増額、予算総額は232億4,770万5千円。
議第49号	令和4年度美濃加茂市国民健康保険会計補正予算(第1号)	1,804万7千円の増額、予算総額は51億8,797万5千円。
議第50号	令和4年度美濃加茂市介護保険会計補正予算(第1号)	1億1,162万8千円の増額、予算総額は41億4,427万円。
議第52号	市道路線の認定について	市道清水705号線外2路線の認定。
議第53号	美濃加茂市教育委員会の教育長の任命について	任期満了に伴う教育長の任命同意(古川一男氏 再任)
議第54号	美濃加茂市教育委員会の委員の任命について	任期満了に伴う教育委員の任命同意(渡邊博栄氏 再任)
諮第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について	任期満了に伴う後任委員の推薦(安江ちか子氏 再任)
諮第2号	人権擁護委員の候補者の推薦について	任期満了に伴う後任委員の推薦(清水三恵子氏 再任)
認第5号	令和3年度美濃加茂市介護認定・障がい者自立支援認定審査会会計歳入歳出決算認定	歳入3,477万5,932円 歳出3,432万4,117円
認第6号	令和3年度美濃加茂市古井財産区会計歳入歳出決算認定	歳入179万2,376円 歳出71万2,050円
認第7号	令和3年度美濃加茂市山之上財産区会計歳入歳出決算認定	歳入120万1,328円 歳出66万2,028円
認第8号	令和3年度美濃加茂市水道事業会計決算認定	収入的収支 収入16億1,382万5,132円 支出14億8,909万3,941円 資本的収支 収入2億8,101万3,531円 支出5億6,976万3,757円
認第9号	令和3年度美濃加茂市下水道事業会計決算認定	収入的収支 収入22億5,773万3,064円 支出22億2,007万6,019円 資本的収支 収入13億6,480万4,001円 支出19億3,047万73円

### 議案の審議結果

#### その他(賛否が分かれたなど)の議案

議案番号	議案名 主な内容	議決結果	議員名																
			永田徳男	田口智子	坂井文好	酒向信幸	渡辺孝男	牧田秀憲	渡辺義昌	村瀬正樹	高井厚	前田孝	金井文敏	柘植宏一	片桐美良	森弓子	森厚夫	山田栄	
議第51号	指定管理者の指定について	◎	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○	○	欠
請第3号	消費税インボイス制度実施延期を求める請願について	×	×	×	○	×	×	×	-	○	×	○	×	×	×	×	×	×	欠
認第1号	令和3年度美濃加茂市一般会計歳入歳出決算認定	◎	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○	○	欠
認第2号	令和3年度美濃加茂市国民健康保険会計歳入歳出決算認定 歳入50億8,347万8,504円 歳出49億9,562万4,972円	◎	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○	○	欠
認第3号	令和3年度美濃加茂市介護保険会計歳入歳出決算認定 歳入39億8,520万8,187円 歳出38億7,055万8,132円	◎	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○	○	欠
認第4号	令和3年度美濃加茂市後期高齢者医療会計歳入歳出決算認定 歳入6億6,777万3,483円 歳入6億3,488万3,431円	◎	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○	○	欠

# 決算審査の概要

事業の進捗や予算執行の状況、議会の予算審議の趣旨が反映されているかなど、適正かつ効率的であったか慎重にチェックしました。また、第6次総合計画に掲げる事業について、議会として事業評価を実施し、市長に提言を行いました(詳細は18ページ)。

## 《市一般会計予算》

### ◆歳入

#### 問 法人市民税が増額した要因は。

答 法人の業績そのものが上がってきた部分と、事務的な調定のタイミングで3月決算期の事業規模の大きな法人を決算に取り入れた部分が大きく、2億円の増加になっている。

#### 問 屋外広告物許可等の手数料の減額の要因と業務体制の詳細は。

答 屋外広告物については、新規に設置する時点で手数料をいただき、3年後に更新、あるいは別の新規の手続きをとるなど、毎年度、手数料の対象物件が変わるため、決算額も変わってくる。また、職員体制は課長1名、係員3名で対応しており、今後も公平で的確な指導等を行っていききたい。

### ◆歳出

#### 問 市バスの運行事業の利用実績は。

答 市バスは2台運用しており、昨年度の実績は年間、1号車が28人乗りで44件、2号車が40人乗りで72件の利用件数があった。コロナ禍もあり、例年と比べて利用件数が大幅に減っている状況である。

#### 問 公用車の管理は。

答 公用車は137台所有しており、リース物件はない。購入から15年を基準として買換えを進めているが、リースも今後比較検討をして、費用対効果、あるいはメンテナンス等を勘案して方向性を定めたい。

#### 問 移住して暮らし始めるための支援事業の成約件数は。

答 令和3年度は8件と見込んでいたが、金銭面、その地域の中での暮らし方など、様々な理由により4件となった。引き続き地域の方たちと共に暮らしをいただける方を、移住という形で呼び込んでいきたい。

#### 問 古民家活用交流促進事業の改修工事の内容と今後の計画は。

答 2つの蔵、主屋の一部について工事を行い、1つの蔵は、老朽化による倒壊の危険性があったため解体し、1つの蔵は隣の建物へ傾いていたので、補強工事し、危険回避の工事を行った。

今年度、限界耐力を計算し、今後10年間以上の

安心・安全に使うための改修と金額を試算したい。

#### 問 自治会活動推進事業の検討会議の詳細は。

答 昨年度、古井地区、山之上地区で各4回実施し、自治会の皆様より行政から依頼される様々な事業の負担や、つながりが希薄化しているなどの課題が出てきた。今後、行政も地域の方も、この自治会という大切な地縁の組織を守っていくためにどうしたら良いかと、互いに考える意識づくりを「あり方検討会議」で考えていきたい。

#### 問 シティプロモーション事業の詳細は。

答 委託事業者を通じ、株式会社ビームスとの連携により市産品の開発等を進めている。全て企業に任せするのではなく、ふるさと納税の返礼品の開発等の際には市内の企業訪問に必ず職員が随行し、その協議の内容等を確認し、連携を取って情報交換を行っている。今後の事業推進にあたっては、事業の内容等について、より精査しながら進めていきたい。



返礼品開発の打ち合わせ

#### 問 多文化共生推進事業のアンケートの詳細は。

答 令和2年度から行っており、美濃加茂市に住んでいる外国籍の方たちの声を把握するために始めている。アンケートの結果を受けて、今年度実施しているのは、本館1階や駅南分室のワンストップ窓口の設置と7月末からのオンラインでの日本語教室である。美濃加茂市の市民として共に暮らしていけるよう、アンケートを引き続き毎年度行っていきたい。

#### 問 長良川鉄道経営安定支援事業のインフラ整備の計画は。

答 踏切のシステム、通信のシステムなど、老朽化が進んでいるため、軌道安全輸送設備の補助金で順次システムの新設を行っている。併せて枕木やレールについても老朽化が進んでいるので、順次新しいものに替えていく予定である。今後も長良川鉄道の

## 決算審査の概要

担当者会議、担当課長会議で、危機感について常に提案をしながら、安全に進めていきたい。

### 自立支援費給付事業の児童発達支援の詳細は。

児童発達支援の1,321人の内訳は、カナリヤの家が1,084件、民間が237件である。カナリヤの家の個人負担となっているが、設管条例で当面の間は無料となっているが、民間事業者は有料となっている。障害者総合支援法に基づく事業であり、今後は検討が必要だと考える。

### 里山活用事業の委託費の詳細は。

未整備人工林調査については、三和町甘屋地区70ヘクタールにて、樹種や密集度及び所有者の意向調査で、今後の整備、活用の参考にする。

### 姫Biz戦略事業の詳細は。

中山道太田宿を中心に起業しており、昨年は、中山道太田宿に本屋、地中海料理屋が出店した。広く皆さんに利用していただくようPR、周知に努めたい。また、起業支援の補助金の家賃は最大36月分を交付している。姫Bizの特徴として、伴走型の支援を掲げており、補助金の交付後も経営の改善、業務の継続状況等について、寄り添いながら対応し進めている。



中山道太田宿に起業した地中海料理屋

### フロム0歳プラン推進事業の補助金対象は。

学校により事業対象は異なるが、内容は各学校に委ねている。体験重視にした計画の下で進めているところが多く、特定の子どもだけになることは基本的にないと思う。また、特色ある学校づくりの補助金の、ネーミングは「F0プラン」で学校に周知をしているので、このまま進めていきたい。

### 《市介護保険会計》

#### 地域介護予防活動支援事業のうち介護支援ボランティア事業の詳細は。

県の補助金はなく、委託業務が約870万円で人件費が約600万円、運営費は、事業費のうち消耗品や保険料、車両費等で約70万円、研修・研究費や印刷費、通信運搬費等で約59万円になっている。

### 《市水道事業会計》

#### 年間有収水量の有収率増加の詳細は。

年間有収率は、0.55ポイント増となり、今年度

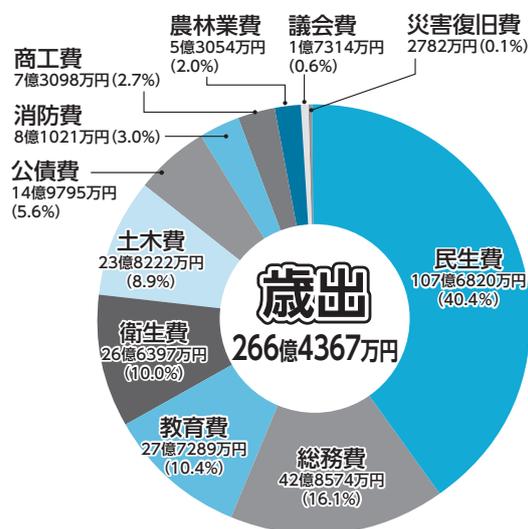
決算89.8%、令和2年度89.25%、令和元年度88.85%、と大きく上がるものではなく、漏水の改修をしながら少しずつ上げている。

### 《市下水道事業会計》

#### 年間有収水量の有収率減少の詳細は。

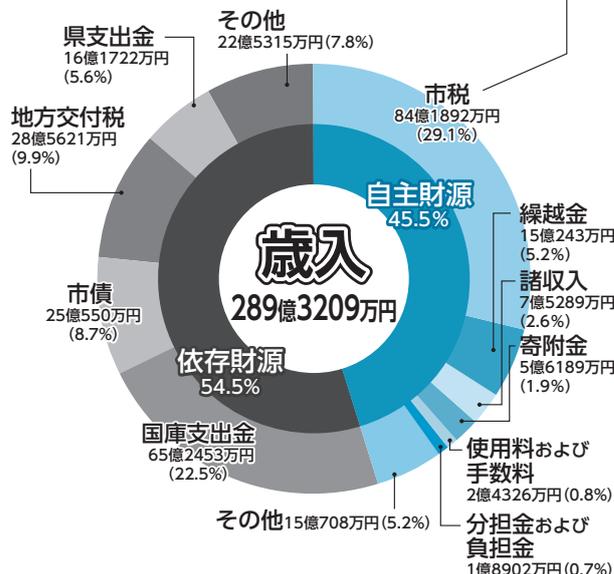
下水道に入ってくる雨水等の不明水が大きな原因であり、去年は雨が多かった事が関係している。管路に入ってくる不明水の確認は、管路の点検の委託業務により、悪い部分を確認して修繕し、少しでも有収率が上がるようにしている。

## 令和3年度 一般会計の決算状況



### ◇ 市税の内訳

種類	決算額 (万円)	収納率 (%)
市民税	37億5255万円	97.8%
固定資産税	35億1081万円	96.5%
軽自動車税	1億8836万円	96.5%
たばこ税	4億 326万円	100%
都市計画税	5億6394万円	96.4%
<b>合計</b>	<b>84億1892万円</b>	<b>97.3%</b>



# 委員会審査の概要

本会議で付託された議案について、各常任委員会にて詳細を審査しました。

※《 》は議案名、◆は主な内容、( )は補正金額

## 文教民生常任委員会

### 《令和4年度市一般会計補正予算(第5号)》

◆小学校運営事業(1,850万円)

◆中学校運営事業(600万円)

#### 問 教育施設の電気使用料について節電対策は行っているのか。

答 全ての小中学校及び給食センターにおいて、デマンド装置を設置している。30分ごとに消費された電力の平均値を表し、その最大値が次回の契約更新時の基本料金に大きく影響するため、その最大値を更新しないように装置で監視し、契約金額の抑制を図っている。

また、日ごろから不要な場所の電源をカットするなど節電に努めている。

◆給食材料費(2,800万円)

#### 問 給食材料費について、補正金額の算定根拠と給食費補填の対応期間はいつまでか。

答 補正金額の算出根拠は、今後見込まれる物価の上昇率や、本年4月、5月の給食材料費の購入実績と給食費を比較して計算した年間の不足額や、地場産品を使用することによる材料費の加算などから算定した金額となっている。

また、対応期間としては、本年4月から来年3月末までを予定している。

#### 問 年度途中で予算が不足する事態が発生した場合、再度補正予算を組む考えはあるのか。

答 今後、予想を超えるような物価上昇がある場合には再度補正予算を組まなければならないと考えるが、現状では、給食センターで計画的に材料の購入や配分を行っているため、今回の補正予算内で対応できると考えている。

### 《指定管理者の指定について》

#### 問 前回のプロポーザルが不調に終わった理由は。

答 前回は、保育園運営、児童館運営及び学童保育運営の業務を実施する内容でプロポーザルを行ったが、学童保育運営のノウハウを持っていないことや、指定管理期間中に事業者の独自色が出せないことな

どの理由で、応募者が一事業者のみということもあり不調に終わった。

#### 問 児童の定員に変更はあるのか。

答 加茂野保育園の定員は195名で、現在通園している児童は165名である。来年度からは、施設の規模を考慮して、0歳児3名、1歳児9名、2歳児18名、3歳児から5歳児まで各48名の合計174名の定員を予定している。

#### 問 保護者説明会は実施したのか。

答 10月23日に在園中の児童の保護者の方々に対して、未満児、年少、年中に分けて3回説明会を行う。

また、新たに入園を希望される方や地元住民の方々を対象にした説明会も同日開催する予定である。

#### 問 在職している先生の今後は。

答 現在、正職員10名、会計年度任用職員17名の合計27名が在職している。正職員については、他の公立保育園に異動することになり、会計年度任用職員は、加茂野保育園に残るか、他の公立保育園に異動するかなどについてヒアリングを行い、希望に沿った形で対応していきたい。

#### 問 セキュリティの問題から学童保育の業者は児童館の事務室を利用しないとあるが、学童保育の事務はどこで行うのか。

答 学童保育を行う遊戯室はかなり広く、その一面を確保して学童保育の事務を行っており、来年度以降も同様の対応となる予定である。



加茂野保育園

## 委員会審査の概要

### 企画建設常任委員会

《市特定用途制限地域における認定畜舎等の建築等の制限に関する条例について》

問 認定畜舎建築審議会の構成メンバーは。

答 メンバーは7名程度を考えており、学識経験者、市議会議員、関係行政機関の職員、建築士などから選定する予定である。

《令和4年度市一般会計補正予算(第5号)》

#### ◆歳出

問 電気使用料について契約先の詳細は。

答 本年9月までは、岐阜電力と契約を結んでいる。10月以降については、新たに電力供給契約の入れを行ったが、不調となったため、セーフティーネットである中部電力パワーグリッドの最終保障供給約款による契約を結ぶ予定である。

#### ◆市議会議員選挙費(330万円)

問 読取分類機増設ユニットを導入することで、どれだけ経費が削減されるのか。

答 本年10月2日に執行予定の市議会議員選挙と、平成30年に執行された前回の市議会議員選挙を比較すると、開票事務従事者が99名から38名となり、61名の削減となる。金額ベースでは30万円から40万円の削減になる予定である。

#### ◆財政管理事業(6億円)

問 財政管理事業の積立金の詳細は。

答 金額の内訳は、財政調整基金積立金が1億円、減債基金積立金が5億円である。

財政調整基金については、特別会計の令和3年度分で一般会計から繰り出した余剰分である521万6千円に一般会計の繰越金をプラスして、計1億円を積み立てる。

減債基金については、本来、後年に交付税措置される3億円が令和3年度で歳入されており、その約3億円と今後の公共施設等の再整備を考慮して、約2億円プラスした計5億円を積み立てるものである。

また、各基金の積み立て後の残高は、財政調整基金が、約44億2,715万1千円、減債基金については、約8億5,420万1千円になる。

#### ◆肥料価格等高騰緊急支援事業(2,999万6千円)

問 対象となる農家の詳細と補正予算の積算根拠は。

答 専業・兼業農家と関係なく、農業収入がある方が対象となる。

積算根拠については、JAや果実農協に昨年度の肥

料、農薬の販売実績を確認し、農業協同組合に関する意識意向調査の結果も参考にして金額を算出した。

問 対象者への周知方法は。

答 11月の広報紙にチラシを折り込む予定である。また、10月中旬頃から市内で肥料等を販売している店にチラシ設置の依頼も行う予定である。



《消費税インボイス制度\*実施延期を求める請願について》

消費税インボイス制度には、太陽光発電で売電している方も対象になるなど、膨大な方が対象となることが予想され、来年10月からの施行までに十分な周知を行うには、時間が足りないのではないかと考える、との賛成意見や、消費税は大半を社会福祉費等に使われており、財源が不足している。また、公平に税金をかけ消費税を有効活用するための方法であると考え、との反対意見があった。

採決した結果、反対多数で不採択となった。

※令和5年10月1日から導入される仕入税額控除の方式。消費税の仕入税額控除の適用を受けるための請求書等の様式が適格請求書に変わる。

議案や条例案の概要は、下記からご覧になることができます。

■美濃加茂市議会ホームページ

<http://gikai.city.minokamo.gifu.jp>

■閲覧方法

トップページ

本会議日程と議案

令和4年 第3回定例会



# 市政一般に対する質問と答弁

14人の議員が登壇し、市政全般に対して、事業の執行状況や将来の方針などについて質問を行いました。  
(掲載順は質問を行った順番)

掲載する内容は、各議員が行った質問と答弁の一部を要約したもので、議員から提出された原文を尊重して掲載しています。ご不明な点は、各議員にお尋ねください。

また、全ての質問と答弁は、「美濃加茂市議会 議会中継」にて配信していますので、こちらをご覧ください。

なお、議会の公式な記録は、後日公開される会議録にてご確認ください。



渡辺義昌議長

## 美濃加茂市議会 議会中継

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/minokamo/WebView/rd/council.html>

美濃加茂市議会 議会中継

検索



議会中継

## 視聴方法

トップページ

会議名一覧

令和4年第3回定例会

8月30日・31日・9月1日 一般質問

## 会議録検索システム

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/minokamo/SpTop.html>



## 酒向 信幸 議員

### 前平公園再整備について

再整備に向けて再整備基本構想、基本計画が策定され、国の社会資本整備総合交付金を活用し整備が計画されていたが、公園の整備を行う民間の事業者を公募し選定するパークPFI\*方式へ方向転換した理由は。

少子高齢化や社会資本の老朽化など社会的課題がある中で、今後の前平公園の在り方を考えた場合に、より一層魅力ある公園にするためには今ある資産の活用、民間との連携による利便性の向上、公園の個性を引き出す工夫が必要であると考え、パークPFI方式の導入を検討している。

前平公園においては、公園全体の利用促進と効率的な整備・運営・維持管理を図るため、まずはパークPFIの導入可能性調査を実施したいと考えている。

パークPFIの導入による、公園利用者、公園管理者、民間事業者、この地域へのメリットは。

パークPFIを導入するメリットとしては、飲食

店や売店等を設置することができるので、公園利用者にとっては利便性の高い魅力的な公園として利用していただける。

公園管理者としては、民間事業者が飲食店等の収益施設と、その収益を活用して広場や園路等の公共部分を一体的に整備することで、より効率的な運営管理が可能となる。

また、民間事業者にとっても上限20年の範囲内で設置管理許可を受けることや建物の建ぺい率の上乗せが可能であるなど、特例措置があり経営しやすい環境となる。

前平公園は市内で唯一の総合公園であり美濃加茂市のシンボルとなる公園です。民間活力を導入することで、前平公園独自の特色が生まれる公園、美濃加茂市民が誇れる公園となるようリニューアルを進めたいと考えている。

\*パークPFIは、平成29年に都市公園法が改正され、飲食店、売店等の公園施設の設置または管理を行う民間事業者を公募により選定する新たに設けられた制度。

≡≡≡ **市政一般に対する質問と答弁** ≡≡≡



**前田 孝** 議員

**コロナウイルス感染症対策について**

- 問** 市内の感染者と現在の自宅療養者数は。
- 答** 8月28日現在、累計感染者数が9,327人、自宅療養者が785人となっている。
- 問** ワクチン接種1回目から4回目の接種状況は。
- 答** 接種状況(12歳以上)は、1回目88.0%、2回目87.7%、3回目66.9%、4回目20.8%になっている。
- 問** 小児ワクチン接種(5歳~11歳)の状況は。
- 答** 1回目15.2%、2回目14.2%になっている。

**市役所新庁舎建設について**

- 問** 市民アンケート4,000人への回収状況は。
- 答** 調査期間7月22日から8月12日までに1,811人から回答をいただき、回収率45.3%となった。
- 問** アンケート結果の市民への報告はいつ頃になるのか。
- 答** 10月中旬を目途に報告したい。

**旧統一教会関連団体に対する  
本市との関係について**

- 問** 教会関連団体イベント「ピースロード」に対し本市は後援しているがその内容は。
- 答** 世界の恒久平和などを願い、若者たちが全国を自転車で周回する事業として後援申請を受けた。
- 問** 県内40の市町村がこのイベントを後援しているが、この内12市町村が教会関連団体と認識している。本市も含まれているがどうして後援したのか。
- 答** 後援申請は、令和4年3月に申請を受け審査した結果、旧統一教会との関連を疑われる団体が共催している状況を把握した。  
旧統一教会に関しては、過去に問題を抱えていた団体との認識だったが、承認時点においても問題を抱えている団体とは情報を持ち合わせていなかった。岐阜県や周辺自治体の承認状況も確認し、平和活動に限定した活動とすることを条件として後援を承認した。
- 問** 今後このような団体とは関係を断ち切るべきだと考えるがどうか。
- 答** 今後は、後援等の在り方、各種団体行事に対する市の関りも含めて適切に対応したい。



**金井 文敏** 議員

**中学校入学支援制度について**

- 問** 入学に関わる出費は。
- 答** 公立中学校への入学にあたり購入が必要となるものは、制服や体操服などの衣類、通学や体育館などで使用する靴、かばんなどが主なものとなる。少なくとも7万円から8万円ほどが入学にあたって必要な出費になるのではないかと。
- 問** 負担軽減策は。
- 答** 入学時に必要となる費用は、就学援助費の対象となる方のみならず、多くの世帯にとって大きな負担になっているものと思われる。  
来年度に向けて今後どのような形、どのような規模の支援が必要かについて考え、小中学校の入学における負担軽減策を検討していく。

必要性は十分に認識している。児童生徒の現状については、日常的に子どもと接する教育現場からの情報が、把握の糸口となるので教育委員会と連携を図りながら、状況把握に努めていきたいと考えている。  
また、実態の把握は、介護・障がい・生活困窮等の支援機関からの情報が有益であり今後、聞き取り調査等により現状の把握をしていく予定である。

**子ども医療費助成事業を  
18歳に拡大することについて**

- 問** 市の見解は。
- 答** 18歳までの医療費の無償化については、対象を拡大することにより保護者の経済的負担が軽減されることなど、子育て世代への支援拡大になる。一方で市の財政に与える影響も大きくなることや、無償化により安易な病院受診につながるものが危惧される。  
今後も、他市町村の運用状況や事業効果等を見極め、市の子育て支援施策の中で総合的に判断する。

**ヤングケアラーの実態調査について**

- 問** 実態調査の取組は。
- 答** 実態を把握し、きめ細やかな支援を講じていく



高井 厚 議員

離農や耕作放棄地の拡大抑制について

問 兼業農家、小規模多品目農業についての考えは。

答 本市も経済振興を目的に農地を潰して都市開発を進める一方で、環境整備の観点から農地の保全が求められている状況にある。

そうした中、国際情勢から食料自給率が大きな課題として突き付けられた。兼業農家や小規模多品目農業に取り組む方が多い当市では、正にこれが強みになるような方策を打ち出すべきだと考える。職員が農業に寄り添い、意見を聞くために足を動かし、汗をかき、知恵を絞りたいと考える。

地域部活動に向けた今後の中学校部活動について

問 中学校の部活動への生徒たちの所属について、本市はどのように指導しているのか。

答 部活動への所属は全員ではない。本年度においては生徒の76.4%が所属している。

問 指導経験のない部活で指導に当たっている教師の人数と割合は。

答 本年度市内中学校で部活動指導に当たっている教員は91名。この中で、現在顧問としている部活動の指導経験のない教員は52名、約57%である。

問 地域人材活用についての保護者の声は。また人材の確保や指導体制は。

答 部活動を地域移行することについて、「勝利至上主義になってしまうのではないか。」という心配の声もいただいている。現在は学校教育の一環としての部活動の位置づけなので、「生徒がスポーツや文化及び科学等に親しみ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養、互いに協力し合って友情を深めるといった好ましい人間関係の形成等に資するものである。」という岐阜県中学校部活動指針をご理解いただける人材の確保が必要である。まずは現在部活動に関わっていただいている方、保護者の方や地域、団体からご推薦をいただいた方に、県が実施する研修を受けていただきたいと考えている。

問 将来的な地域部活動の運営主体の在り方や方向性は。

答 生涯スポーツの中での活動の方向性も出てきているので、今後も国の動きを注視し、本市としての在り方を見極めていきたい。



森 厚夫 議員

新庁舎建設について

問 市民アンケート集計後の進め方は。

答 無作為抽出した15歳以上の4,000人を対象に行い、7月22日から8月12日までに1,811人、45.3%の回答をいただいた。早急に集計・分析を行い、検証結果を踏まえて、新庁舎整備に関する方針や、今後の進め方を示す新庁舎ビジョンを今年度中に策定したい。

問 今後、市民アンケート結果をどう生かす予定か。

答 これまでに実施してきたワークショップ、市民説明会、出前講座などでいただいた意見も含め、プロジェクトチームの検証作業に活用する。

問 検証はどのように進めていくのか。

答 課長補佐、係長級の5名編成チームで進める。市民アンケート結果や市職員アンケート結果についても検証する。

問 プロジェクトチームの進捗状況は。

答 情報整理部会と検証部会と2つのプロジェクト

チームで検証作業を行っていく。

問 検証した結果後の予定は。

答 検証結果を踏まえて、今年度中に、今後の市の方針や進め方を示す新庁舎ビジョンを策定したい。

問 市民への周知をどのように行っていくのか。

答 アンケート内容や検証作業等は、随時進捗状況がわかるようにホームページや広報紙での掲載や、マスコミへの周知も行い、若い世代にも関心を持っていただくためにもSNSの活用も積極的に考えていく。

自治会組織の在り方について

問 自治会未加入者への加入促進方法は。

答 令和4年度の自治会加入率は54.8%であり県下ワースト1位である。このような状況は、社会が様々な変化をしてきた中で、自治会に対する考え方や価値観、人との関わり方が大きく変化していることが、要因であると思われる。様々な地域課題に対応していくためには、住民自治の力は必要不可欠であると考えており、地域、行政が一体となって住民自治の推進に取り組み、自治会の役割を見直す必要があると考える。地縁による団体であるため、市から押し付けにならないよう改善に努めたい。

≡≡≡ **市政一般に対する質問と答弁** ≡≡≡



**山田 栄** 議員

**文化の森について**

**問 文化の森における防災拠点としての整備状況及び今後の予定は。**

答 令和3年度に本庁の代わりをする災害対策本部代替え施設工事は完了した。非常電源を供給する対象箇所としては、1階の事務室、コンピューター室、会議室、研修室、及び2階の情報学習室となっている。

文化の森に災害対策本部を設置する場合は、2階の情報学習室に災害対策本部を、1階事務室に初動活動班の受援班及び総務班を、会議室には、国、県、緊急消防援助隊、警察災害派遣隊、自衛隊、消防等を、研修室には初動活動班の情報収集班、情報伝達・広報班が使用することとしている。大災害時に当市の災害対策本部員及び担当職員、国、県、緊急消防援助隊、警察災害派遣隊、自衛隊等の幹部が参集することになり総勢で80名程度を想定している。また、災害対策本部設置に必要な、県防災情報通信システムをはじめとする通信設備及び電話回線等の設

置訓練を令和4年度中に実施する。

**問 文化の森の防犯対策は。**

答 防犯灯を、駐車場や施設外周に22基、森の中に9基設置し、また、防犯カメラを、館内に14台、野外に5台設置している。しかし、防犯カメラと接続された、事務所内にあるモニターやレコーダーは、満足できる機能を果たしていない状態にある。防犯機能は来館された方の安心・安全につながるものであり、万が一の時のために必要なものと考えている。開館して22年が経過し、様々な設備の更新や修繕が必要となっているが、優先順位が高い設備であり更新に向け協議していく。

**商業ビルについて**

**問 維持管理運営事業の費用の見込みは。**

答 市商業ビル維持管理運営事業として、一般会計の歳出ベースでは、令和元年度に約6,500万円、令和2年度には約5,100万円、令和3年度に約5,300万円を支出している。市商業ビル長寿命化計画では、予防保全型維持管理を行った場合は30年間で約30億円の費用が見込まれている。さらに光熱水費や施設の点検、管理委託等の費用として令和3年度を例とすると年2,600万円ほどが必要になる。



**柘植 宏一** 議員

**学校改革について**

**問 映画「夢見る小学校」の感想は。**

答 子ども達の思いや考えに寄り添い、子ども達の可能性を引き出す自由な体験の中で学びを深める姿や笑顔が印象に残った。子ども達が自らの将来を考えながら意欲をもって学び、地域に求められる学校を作っていく上で参考となる映画であった。

**問 「通知表のない学校」の感想は。**

答 評価の在り方を変え、競争をなくし、保護者との懇談をより多く取り入れることができ「通知表のない学校」は、学校の歴史や地域の特色を生かし、素晴らしい教育理念を掲げて実践している。

当市でも令和4年度からコミュニティスクールを設置し、地域の皆さんとともに「どのような子どもを育てていくか」を考え、地域の歴史や特色を踏まえた教育を実践しようとしている。先進的な取り組みや特色ある取り組みも参考にしながら、地域と学校が一緒になって、より良い学校づくりに取り組んでもらうことを期待している。

**まちづくり協議会の在り方について**

**問 まちづくり協議会の総合的な見直しは。**

答 環境美化や子育てなど、地域全体の課題解決のため積極的に活動している。今後は、コミュニティスクールなどの教育分野や、高齢者の見守りなどの福祉分野との関わりも出てくると考えており、協議会は欠かすことができない存在となっている。「まち活発表会」の再開や、先進的なまちづくり団体の活動を知る機会を設け、協議会のあり方を考え直すきっかけの場を設けていきたい。

**発達支援センターについて**

**問 「発達支援センターの必要機能に関する提言」に対する感想は。**

答 当市における発達支援の現状や課題や目指すべき方向性などについて詳細を把握することができた。生涯支援の実現に向け、本人だけでなく、家族や支援者を含めた総合的な支援体制、生涯にわたり切れ目のない相談支援体制、地域共生社会の実現のための包括的支援体制の構築などが非常に重要であるので、今後の発達支援センターの役割やその機能等を議論する中で、しっかりと活かしていきたい。

市政一般に対する質問と答弁



片桐 美良 議員

ヘルステック健康まちづくり事業について

問 事業の進捗状況は。

答 三者連携協定に基づき一定の施設整備を行い、ソフト事業の展開について検討を始めた。

問 事業推進三者連携でのそれぞれの役割は。

答 市は国保データベースの活用と提出や各種イベントの実施等、厚生会は匿名化の医療データや先端医療の提供、フィリップスは各種データの解析やデータベースの構築を予定していたが、まずは本市が指向する「健康の将来ビジョン」の策定と具体的な事業展開について協議している。

問 事業参加利用者をどの様な方策で募る考えは。

答 家庭・地域・企業を巻き込んだ動きにしていく必要があると考えている。併せてイベント等に幅広い世代が参加できるように計画していく。

問 クアオルトウォーキングの進捗は。

答 コースは文化の森の逍遙こみちと桜の森の白山遊歩道について認定コース推薦いただいている。

健康づくり事業について

問 特定検診の受診率に対する本市と県内北部各市との差についての分析所見は。

答 特定検診の実施方法による影響が大きいと考えている。今後、特定検診の実施方法の改善を検討していく。

問 高齢者の健康寿命延伸の方策は。

答 介護予防教室や高齢者が主体となって実施する介護予防活動の育成・支援を行い、関係部署との連携を図りながらきめ細やかな事業推進していく。

まちづくり協議会の現状と課題について

問 活動のあり方と各種団体との連携は。

答 運営面など各協議会で共通する課題があり、解決に向け行政とまち協及び各種団体の皆さんと今一度まちづくりについて考えていきたい。

連絡所の役割と在り方について

問 連絡所の役割と在り方についての考えは。

答 連絡所を地域の皆さんとしっかりと意見交換できる場所に位置づけ、所長の他に積極的に地域の方々と関わる「地域マネージャー」といった職員配置を試験的に考えてみたい。



村瀬 正樹 議員

新庁舎整備アンケートについて

問 回収率や集計の進み具合は。

答 4,000人を対象に行い、1,811人から回答をいただき、45.3%の回収率となった。非常に多くの市民の方から貴重なご意見をいただいた。結果は、10月中旬を目途に報告したいと考えている。

問 分析後の進め方は。

答 市民アンケートでいただいた貴重なご意見は、現在進めている新庁舎整備事業プロジェクトチームの検証部会の検証作業に活用するために、委託業者の専門統計調査士が分析している。今回のアンケート結果や、今までに実施してきたワークショップや市民説明会、出前講座の意見等も踏まえ、新庁舎整備に関する方針や、今後の進め方を示す新庁舎ビジョンを策定するために活かしていく。

問 周知方法は。

答 随時進捗状況がわかるように市ホームページに掲載することに加え、広報紙への掲載やマスコミへ

のプレスリリース等での周知を考えている。また、若い世代にも関心を持っていただくために、SNSの活用も積極的に考えていく。

教師の働き方改革について

問 時間外勤務の実状は。

答 6月の平均時間外勤務時間は、小学校が51時間18分、中学校が49時間23分となっている。過労死ラインと言われる80時間オーバーは小学校で11名、中学校で16名となっている。

問 時間外勤務を減らし負担を和らげる対策は。

答 中学校部活動の外部指導者の導入状況は、西中で6部活9名、東中で7部活15名である。ICTに係わる研修は、長期休業日など教員に比較的余裕のある時期に実施している。

道徳をはじめとする評価と通知表については、負担増にならないように、多くの学校では1学期は道徳、2学期は総合などと分けている。

保護者対応と家庭での教育力低下については、年々保護者への対応は増加している。留守番電話の導入も行われている。また、家庭内の出来事を家庭内で納めることができず、学校での対応を求めるなど、学校依存の傾向が強くなっていると感じる。

≡≡≡ **市政一般に対する質問と答弁** ≡≡≡

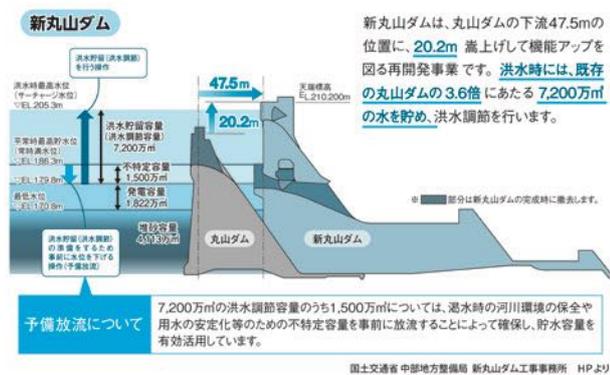


**永田 徳男 議員**

**水害について**

**問 新丸山ダムの能力と建設完了、運用開始予定は。**

**答** 新丸山ダムは、昭和58年9月に起きた洪水規模に対しても木曽川を安全に流下させるだけの能力を持つことを目的としている。建設は、2021年12月に本体建設に着手し、現在、工事は順調に進んでいて、完成及び運用開始は、2029年度(令和11年度)を目標としている。



**立地適正化計画について**

**問 全国でこの制度での開発は現在あるのか。**

**答** 令和4年4月1日現在で、全国626都市が立地適正化計画について具体的な取組を行っており、このうち448都市が計画を作成、公表をしている。岐阜県内では9市町が取り組み、8市が計画を作成、公表している。

具体的な取組は、立地適正化計画に基づく都市構造再編集中支援事業を活用し、病院や図書館、コミュニティ施設を誘致した事例や社会福祉施設、教育文化施設などの整備をした事例があり、岐阜県内でも美濃加茂市以外に岐阜、多治見、関市他3市で実施されている。

**問 美濃太田駅南のエリアー帯での「新庁舎を含む」「民と官」とによる立地適正化計画での再開発はどのように考えるのか。**

**答** この「立地適正化計画」を利用することは、考えている。何を行う事が、未来に向かって必要なのか住民の皆様とこのエリアが大きな視野に立った時に、どのような役割を果たせるのかビジョンを立てた上で、美濃加茂市のチャンスと捉え、長く時間を掛けずに考えていきたい。



**田口 智子 議員**

**健康寿命延伸について**

**問 「みのかも健康10カ条」について伺う。**

**答** 「みのかも健康10カ条」は健診や口腔、突然死の防止、運動や食事といった「体の健康」、睡眠やストレス回避といった「心の健康」、不慮の事故防止や地域との繋がりといった「社会の健康」がその内容となっている。

その実現のためには、個人だけでなく家庭や地域、企業などのセクターにおいてそれぞれの取組を設定し幅広く健康をイメージしていただき、その分析等にデータの活用等による科学的な裏付けができればと考える。

**特色ある教育について**

**問 学力調査の結果を踏まえてどのような課題があるか。**

**答** 昨年度の結果分析では、小中学校ともに「目的や理由をもって読んだり、書いたりすること」「物

事を数学的に解釈し、特徴、解決の方法、判断の理由を言葉や数を使って説明すること」が課題となっている。そこで本年度は特に「自分の考えを表現したり対話的な場面で説明したりする活動」を通してアウトプットに表現する力の育成に努めている。

**脱炭素の取組について**

**問 市内の公共施設の脱炭素化についての考えは。**

**答** 現在、エネルギーを取り巻く社会情勢は不安定な状況にあり、照明のLED化、効率空調設備の導入、太陽光発電装置の設置はエネルギーを生み出し、効率よく消費する脱炭素に資する事業である。優先的に取り組むことを精査したうえで、身の丈にあった無理のない施策を進めていく。

**問 本市は他市町に先駆けてSDGs未来都市や、ゼロカーボンシティを宣言している。中身や動きが見えていないが市長の考えは。**

**答** 脱炭素先行地域の3回目の申請については、官民の連携事業に意味があると考えている。官の思いを伝えて民間レベルでも無理せずしっかりとした事業が成り立つ事が分かった上で事業を進めていきたい。



渡辺 孝男 議員

### 小中学校のプール授業について

問 民間プールの利用も含めた、今後のプール授業は。

答 民間施設のプール活用について、市内で3校のプールが利用できない事から業者が受入れ可能なキャパシティー、人数や日程などについて、しっかり把握することが必要と考えている。

今後は、学校プール設備の整備費用とその修繕計画、民間事業者の委託費用などから多面的に検討を重ね、民間施設での水泳授業の実施が、可能かつ望ましいと思われる学校への導入について、順次進めていきたいと考えている。

### 公共施設に設置してあるAEDについて

問 市内の公共施設、学校も含めAED設置総台数及び保守管理体制は。

答 学校施設を含めた公共施設に設置されているAEDは、51施設、計61台である。保守管理については、市庁舎を例にとると、設置事業者との間で

「AED及び広告付き行政情報ディスプレイ設置に関する賃貸借契約」を締結し、設置事業者がAEDの消耗品の交換等の保守管理を実施している。

### 4月1日施行の県自転車条例について

問 小中学生に対して条例の周知及び確認方法は。

答 「岐阜県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」により、本年4月1日より施行されている自転車通学者のいる学校長が、自転車通学者に「自転車の利用に係る自転車損害賠償責任保険等に加入していることを確認すること」が、この10月1日より努力義務として求められている。

努力義務ではあるが、学校は生徒の自転車通学の申請時に、保険加入の有無を確認する必要があると考える。令和5年度以降は、自転車通学者はもちろん、部活動等で自転車を使う生徒についても、年度の当初に加入の有無を確認することとなる。また、施行日となる本年10月以降については、2学期始業時に、本条例に係る周知文書を発出し、周知啓発を図るとともに、保険の加入状況についても確認する予定としている。



森 弓子 議員

### 農地転用の権限移譲について

問 県から権限移譲を受け、農地転用の可否を市で決定した方が、市の計画に沿うため手続きが早いと考えるがどうか。

答 農地転用に関する権限が市へ移譲された場合は、4ヘクタールまでの案件について許可権者が市長になり、県が行っていた申請書の審査事務や許可事務を市（農林課）が担当することになり、農業委員会事務局から諮問された申請書を農林課が審査することになる。

当市の農地転用申請に関する申請から許可までの日数は約45日であり、申請件数は毎年200件を超えており、この件数から想定すると、申請から許可までの期間は短縮されない。また、事務量の増大とともに、専門知識や経験のある職員の配置が必要になる。さらに、農振地域の除外申請については県が権限移譲していないので、当市の場合は権限移譲は現実的ではないと判断する。

### マスクについて

問 厚生労働省の「咳エチケットで感染拡大防止」

のポスターにも書いてあるとおり、マスクは症状のある人が他人に飛沫を防止するために使用するものと明記されている。コロナは、飛沫感染ではなく空気感染と分かったので、マスクの効果はないがその認識は。

答 ポスターでは、咳やくしゃみが出る時の注意事項が明記されている。また、本年5月23日には、屋内や屋外での基本的対処方針が出されているが、その着用は従来同様、基本的な感染防止対策として重要であるとしている。そのうえで、熱中症防止等、状況に合わせた対応が示されている。

問 学校では、児童生徒に対して熱中症対策を優先させることを明確にすべきと考えるが。

答 熱中症対策を優先にすることについては、5月に「熱中症に係る学校での対応について」、6月に「夏季における学校でのマスク着用について」の表題で保護者向けの文書を作成し、気温・温度や暑さ指数が高い日など、熱中症等の健康被害が発生するリスクがある場合は、マスクを外すことを周知している。

市政一般に対する質問と答弁



坂井 文好 議員

堂上蜂屋柿振興について

問 美濃加茂市の農産物トップブランドとして、今後の展開は。

答 「堂上蜂屋柿」は美濃加茂市のトップブランド品として、これまで「本場の本物」の認定や地理的表示産地別GI登録産品に認定されるなど、その知名度や希少価値を高める取組を行ってきた。千年の歴史を持つ「堂上蜂屋柿」をさらに後世へ引き継いでいくことが私たちの使命だと考えている。

今年度はNEXCO中日本やJAめぐみの等と連携協力を図り、Makuake(マクアケ)サイトでクラウドファンディングを実施した。「干柿手作りキット」と職人が作成した最高級品「煌(きらめき)」をセットで販売、目標金額を100万円に設定し8月2日に掲載したところ、73人の方に注文購入いただき3か月の掲載期間を待たずして約2週間で完売した。

こうしたことから、産品価値は少しずつ向上してきたが、まだまだ可能性を秘めている。後世へ繋

ぐためにも、更に産品価値を高めて、生産者の誇りとやる気が高まるように市としても努力をしていく。

新産業集積地区開発について

問 ウォークブルシティや蜂屋地区のまちづくりとの関連性については。

答 産業集積地の整備については、法的な基準や各種制度に基づいて民間事業者により開発事業が行われる。民間事業者には市の総合計画、都市計画マスタープラン、里山千年構想などについて紹介をしている。

また、将来的には開発事業地への企業誘致や環境整備などについても協力や相談をし、雇用の確保や地域環境との調和などを目指したいと考えている。

なお、道路整備事業においては片側歩道の整備を予定しており、これにより中部台地からぎふ清流里山公園方面への安全な歩行空間が新たに展開できると考えている。ウォークブルシティの理念はもちろん蜂屋地区のまちづくりにも好影響があると考えている。

活動①  
ピックアップ

企画建設常任委員会で「新丸山ダム」の視察を行いました。

新丸山ダムは、完成から60年以上が経過した丸山ダムをかさ上げし、洪水調整機能の強化等を目的として昭和61年から事業が着手されました。

完成はまだまだ先ではありますが、昭和58年9月に発生した大規模災害のようなことが起こらないよう、市民の安心・安全を守るためにも新しいダムの早期完成を要望していきます。



# 活動② ピックアップ

## ～議会による事業評価～今年度の提言を行いました。



市議会では、「予算決算特別委員会」を設置し、予算と決算の総合的・一体的な審査を行っています。その活動の一環として、議会が市の各事業を個別にチェックする「事業評価」に取り組んでいます。

今年度も、対象事業の抽出やそれぞれの事業に対する評価などについて審議を重ね、6事業について、議会としての意見を付し、市長に直接提言をしました。これらの提言が、執行部において十分に検討がなされ、来年度の予算や各事業の取り組みに反映させることを求めています。

今後も、この提言に基づく予算や事業への反映について、執行部から報告を求めるとともに、引き続き調査を行っていきます。

### 令和4年度 議会による事業評価 提言一覧

事業名	評価	提言の主な内容
学校運営協議会事業	拡充	・地域や保護者への啓発・周知を継続して行うこと。周知方法の幅も広げること。 ・地域との連携を深めるには、市民の社会参加や地域力向上といったまちづくり的な観点から、まちづくり課との連携を深めるべきである。
科学のふしぎ解決学習推進事業	廃止	・一日を費やして出かけるのではなく、理科室での実験や戸外での学習など、子ども達が好奇心を持って学べる体験的学習に切り替えるべき。中学校の理科担当教員の出張授業など専門性を持つ教員による教育を実践すべきである。本事業については廃止を含め見直すことを提言する。
カナリヤの家管理運営事業	拡充	・増加する対象児童への十分な支援を確保するための支援員の増員及び支援スペースの確保、保護者に対する相談支援や多様な特性に対応できる専門性及び専門員の確保を行うこと。 ・発達障がいに対する、市長部局と教育委員会が一体となったビジョンの共有を行うこと。
ローカルSDGs推進事業	拡充	・全体的に言われるSDGsとローカルSDGsとの違い、市が取り組もうとしているローカルSDGsとは何かを明確化すべきである。 ・ローカルSDGsに対する認識、理解度がまだまだ低いため、市民に分かりやすい事業にすること。
新庁舎整備事業	継続	・候補地選定は市民への情報の開示、情報提供を明確に行い、市民の声をよく理解しつつ推進すること。 ・市民アンケートの集計などから、目標を定め、確実に市民が納得し喜ばれる新庁舎整備を進めること。
空き家等対策事業	拡充	・行政が将来に向けて、しっかりとした市独自の条例をつくるべきである。(空き家条例) ・空き家バンクの在り方、空き家の再利用などを挙げての取組が必要である。

## 議会を傍聴しました

- ・美濃加茂市の事業の未来を知ることができました。また農業ビジョンへの質問に対して、市側の説明を聞き希望を持ちました。
- ・メモをとる議員さんが多くみられ、答弁や市政に対しての関心の高さを感じました。
- ・市政について知見を高めることができた。市民の学びの場になるようにしてほしい。
- ・質疑において、加茂野保育園と加茂野児童館の指定管理者についての詳しい説明を聞き知り、議員の質問の厳しさと、行政側の適切な答えに触れられてよかったと思います。

## 次回の定例会の予定

### 令和4年市議会第4回定例会

11月28日(月) 初 日  
12月 7日(水) 一般質問  
8日(木) 一般質問  
9日(金) 質 疑  
16日(金) 最 終 日

場所：市役所本庁舎3階 議場  
時間：午前9時から(最終日は委員会終了後)  
※日程は都合により変更となる場合があります。  
詳細は議会事務局までお問い合わせください。

## 編集後記

無投票ではありましたが、4年に1度の選挙を経て、議員それぞれの抱負を胸に新たな議会がスタートしました。第1回臨時会では、正副議長と議会構成が決まりました。

コロナ禍が続き、人が集まることが制限される中では、議会と市民の皆様との懸け橋になるよう、議会だよりを充実させていかねばなりません。

今後4年間、編集委員会では、議員自ら紙面の構成・記事の編集など読みやすく充実した紙面づくりに努めていきます。ご意見ご提案をよろしく願ひ致します。 編集委員会一同

## 第3回定例会の議場装花



議場に飾られている花は、加茂農林高校園芸流通科の生徒さんによっていただきました。

次回の議会だよりは、令和5年2月1日を予定しています。

ご意見ご感想は、市議会ホームページ(ご意見・アンケート)、はがき、ファックス、メールにてお寄せください。

